

八王子市教育委員会 殿

学校名 八王子市立松木小学校
校長名 河村 真奈美 公印

令和6年度 特別支援教室の教育課程について（届）

このことについて、八王子市立学校の管理運営に関する規則第16条により、学校教育法施行規則第140条の規定に基づく、特別支援教室による指導を下記のとおりお届けします。

記

1 特別支援教室の教育目標

- (1) 本校の教育目標「強い心と体の子」の達成にあたり、「豊かな心」を育成するため、児童がより良い自分やより良い人間関係をつくる活動を主体的に行えるよう、思いやりの心と規範意識を育む。
児童に、返事、挨拶、丁寧な言葉遣いとマナー・エチケット、人とつながる会話力の指導を継続し、在籍学級での適応力を高め、将来の自立と社会参画につながる「豊かな人間性」を育む。
- (2) 巡回指導教員と在籍校担任との連携を密にすることで、児童一人ひとりの児童の発達状況を的確に把握し、障害に基づく様々な課題を改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。

2 教育目標を達成するための基本方針

- (1) 児童の実態に基づき合理的配慮をすすめながら、児童一人ひとりに応じた指導を創意・工夫する。
- (2) 在籍学級担任、保護者と共に作成した学校支援シートや連携型個別指導計画を活用し、一貫性のある指導と支援を行う。
- (3) 巡回指導教員と在籍校担任、保護者、特別支援コーディネーター、特別支援教室専門員、スクールカウンセラー、臨床心理士等と協働しながら組織的に児童の実態把握の機会を設け、指導の充実を図る。
- (4) 個々の児童について指導の記録をとったり、授業後に目標に対しての振り返りを行ったりすることにより、成果や課題を確認しながら毎回の指導を見直し、時程の設定の改善を図る。

3 指導の重点

- (1) コミュニケーション上での表現を実践する時間を確保し、児童ができたところを明確に伝え評価することで、達成感を得て自己肯定感の向上をめざせるよう指導を行う。
- (2) 児童一人ひとりの困難さに基づき、自立活動の6区分に沿って指導を行う。学校経営計画の取組目標「豊かな人間性」に沿って、6区分の中で特に「人間関係の形成」と「コミュニケーション」に重点を置く。人と関わる楽しさや心地よさを味わえるような指導と、コミュニケーションに必要な言語の形成と活用がスムーズにできるよう指導を行う。

4 その他の配慮事項

- (1) 児童の実態を十分に踏まえ、巡回指導教員と在籍校担任、保護者及び心理・医療・福祉等の関係機の連携を図り、校内委員会を通して指導内容や支援方法の見直しを図る。
- (2) 見通しをもった進路指導を行い、原則1年間の特別支援教室における指導の終了ができるよう、校内及び在籍学級と連携を図りながら、指導内容や指導方針等を検討する。